

まちづくりの基本目標

小樽市都市計画マスタープランにおける将来都市像は、小樽市総合計画「市民と歩む 21世紀プラン」に掲げられている『未来と歴史が調和した 安心、快適、躍動のまち』とし、この実現に向けて、まちづくりの3つの基本目標を定めます。

・将来都市像・ 【未来と歴史が調和した 安心、快適、躍動のまち】

まちづくりの3つの基本目標

自然を大切にし、
歴史を育むまち

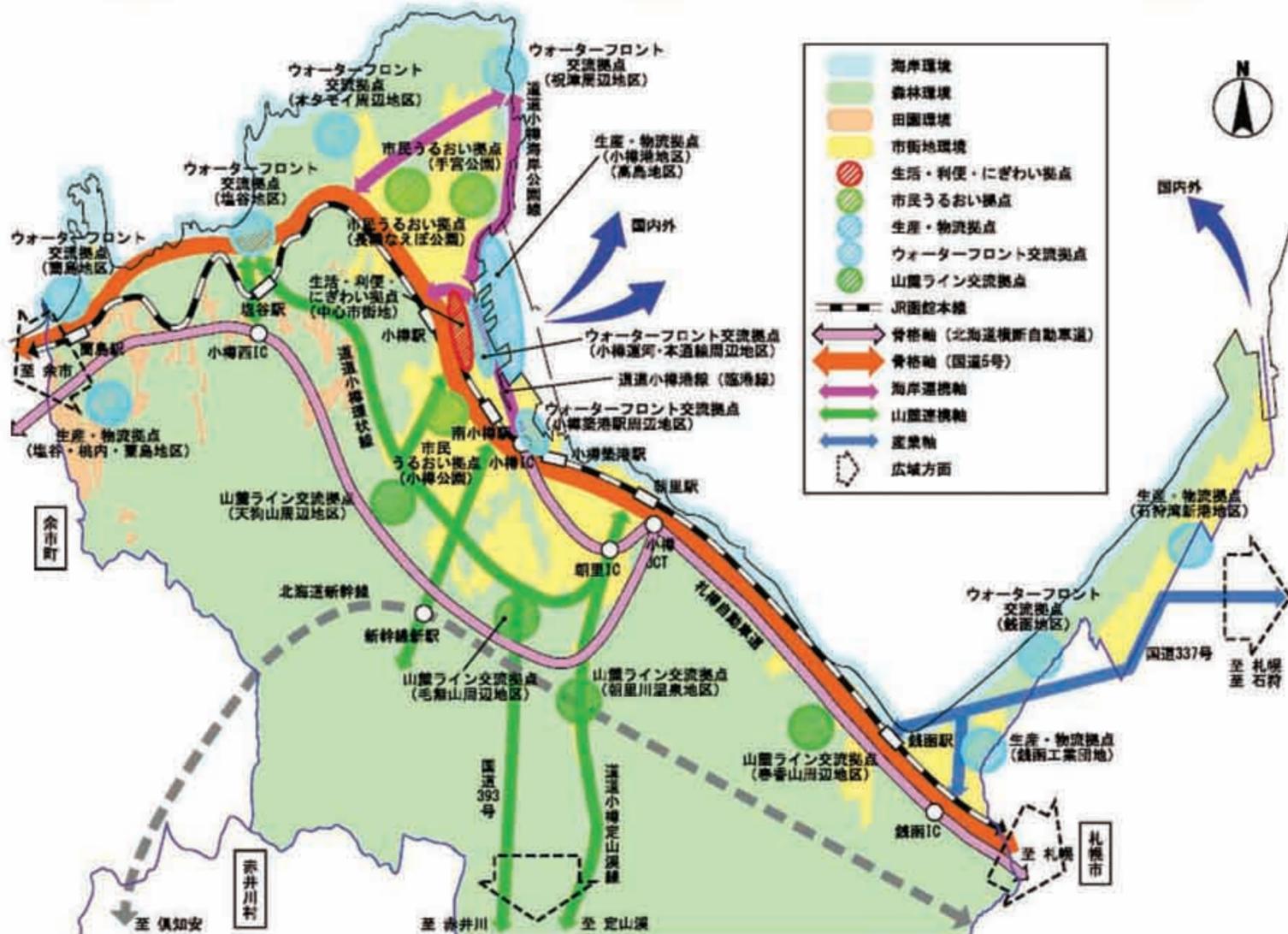
《環境と調和する都市をめざして》

活気あるまち

《活気ある産業・交流都市をめざして》

安心して快適に
暮らせるまち

《安全で快適な都市をめざして》



まちの骨格

都市構造の基本的な枠組みを「まちの骨格」として設定し、都市環境や広域交通ネットワーク、拠点の形成等について基本的な考え方を示します。

1. 都市環境の形成

- 海岸環境
海岸地域の良好な環境を維持・保全します。
- 森林環境
森林地域の良好な環境を維持・保全します。
- 田園環境
良好な生産の場や体験農園などの農地は、市民が親しめる場として、その環境を維持・保全します。
- 市街地環境
既存の機能を有効に活用しつつ、利便性の高い市街地の整備・開発を図ります。

2. 広域交通ネットワークの形成

- 交通混雑の解消や物流の円滑化、交流の拡大などを図るため、道路、鉄道、港湾の連携を強化します。

3. 拠点の形成と連携

- 生活・利便にぎわい拠点
にぎわいの創出を図るため、商業の振興や街なか居住などを促進します。
- 市民うるおい拠点
施設の充実を図り、うるおいのある空間の維持につとめます。
- 生産・物流拠点
既存工業機能の集積、技術の高度化、新たな産業の立地に対応します。
- ウォーターフロント交流拠点
歴史や親水アメニティと連携を図り、中心市街地との連続性の強化につとめます。
- 山麓ライン交流拠点
自然環境に配慮しつつ、特色ある観光・レクリエーションの場として誘導します。

4. 拠点間ネットワークの形成

- 骨格軸
交流・生産・生活などの多様な都市活動を支え、地域の活力を高める軸。
- 海岸連携軸
産業や交流の連携を担う軸。
- 山麓連携軸
市民生活の利便性や交流機能の向上のほか、産業や物流などの広域的な交通機能を担う軸。
- 産業軸
港湾機能と生産・流通機能の連携強化を担う軸。
- 生活軸
生活機能を支える軸。

まちづくりの部門別方針

●土地利用の方針

本市の地形的な特性や土地利用の経緯、実態などを考慮しつつ、豊かな自然環境の保全、快適な生活環境の確保、活力ある産業の振興などが適切に図られるよう、調和のとれた土地利用を進めます。また、人口の減少や少子高齢化などの社会動向も考慮した、利便性の高いコンパクトな市街地形成をめざします。

●交通の方針

交通混雑や駐車場対策、自然環境への配慮や高齢社会に向けた整備など、様々な課題に対応し、安全で快適な人にやさしい交通環境の実現をめざします。

●緑の方針

本市を取り囲む豊かな自然環境の保全や身近な公園の緑の育成、親しみのある河川環境の形成、市民とのパートナーシップによる緑の創出など、都市と自然環境との良好な共存・共生関係をめざします。

●生活環境の方針

*住宅・住環境の方針

人口の減少や高齢化などの社会動向を考慮し、定住人口の増加を図る住宅施策を推進するとともに、冬の暮らしを快適なものとする生活環境づくりを進め、誰もが安心して快適に住み続けられる住宅・住環境の形成につとめます。

*バリアフリーの方針

本市の地形的な特性や高齢社会を踏まえ、ノーマライゼーションの理念のもとに、すべての人が住み慣れた地域社会の中で暮らせる、人にやさしいまちづくりをめざします。

*処理施設の方針

下水道やごみ処理施設などの生活関連施設の整備・充実につとめ、生活環境の向上を図ります。

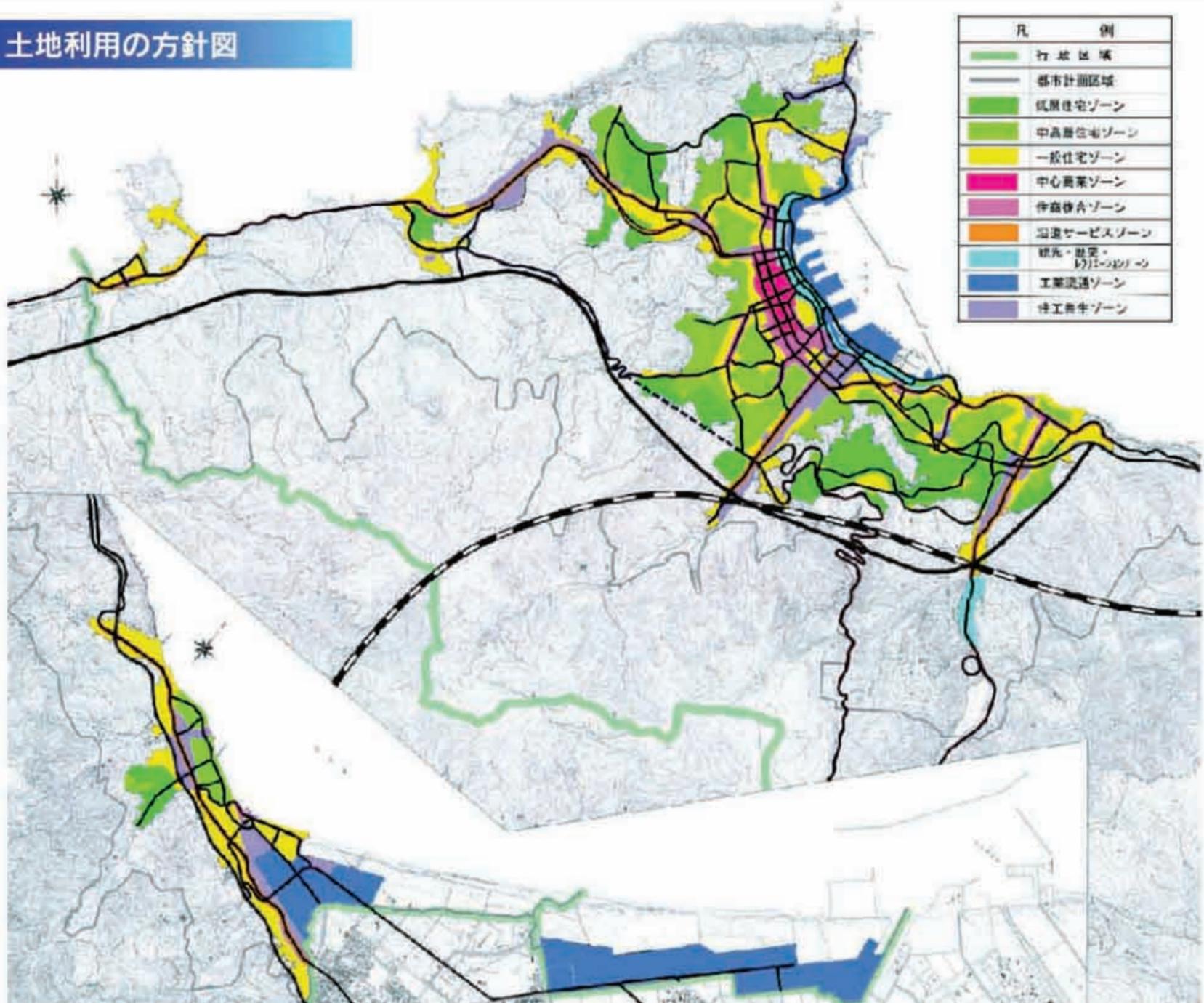
●都市景観の方針

個性的で魅力ある景観を創出するため、市民参加と協働による景観づくりを進めます。

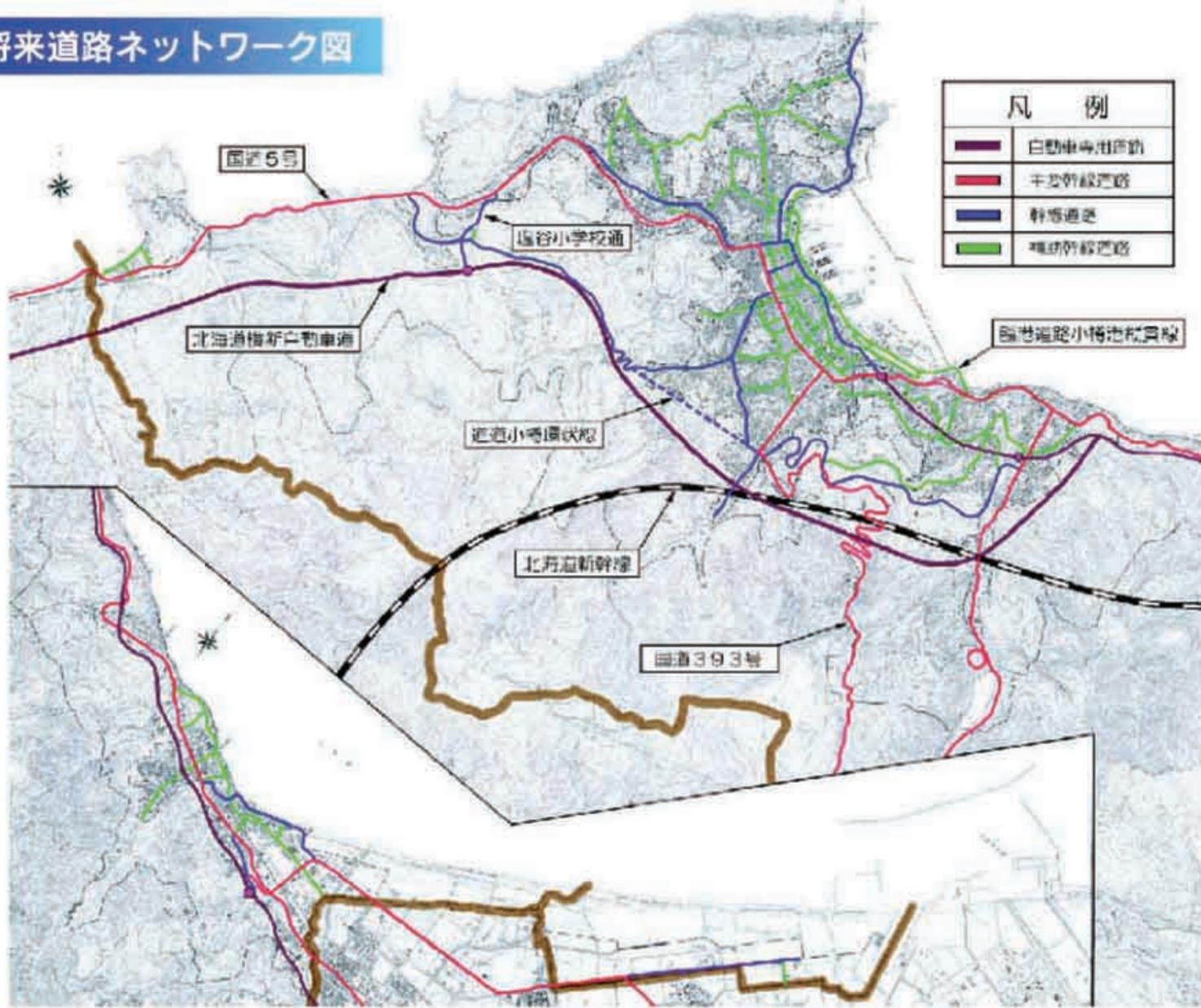
●都市防災の方針

都市防災の機能強化を図るため、都市基盤施設の耐震化や不燃化の促進、ライフラインの確保、河川の改修などにより、安全で安心して住むことができる都市づくりをめざします。

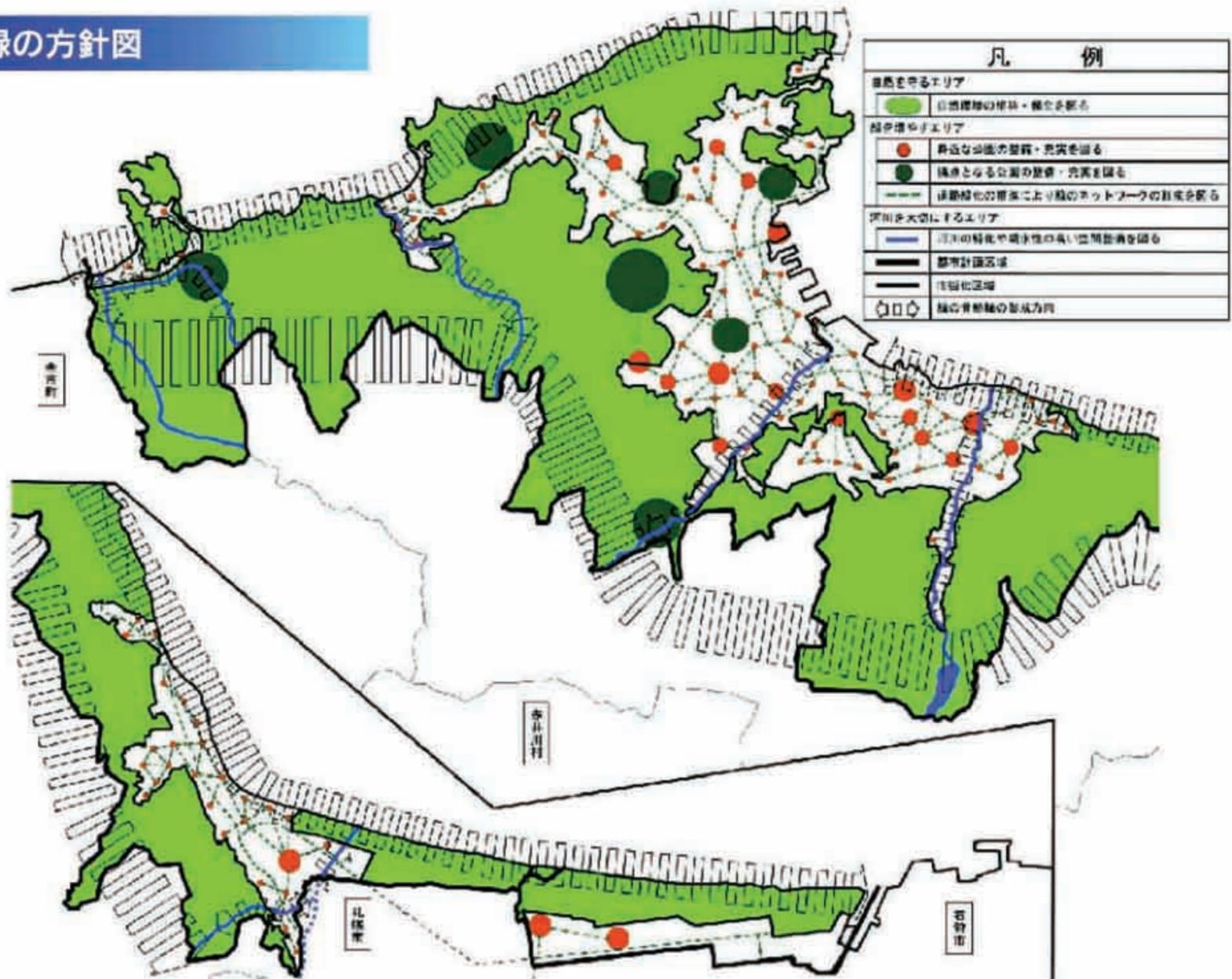
土地利用の方針図



将来道路ネットワーク図



緑の方針図



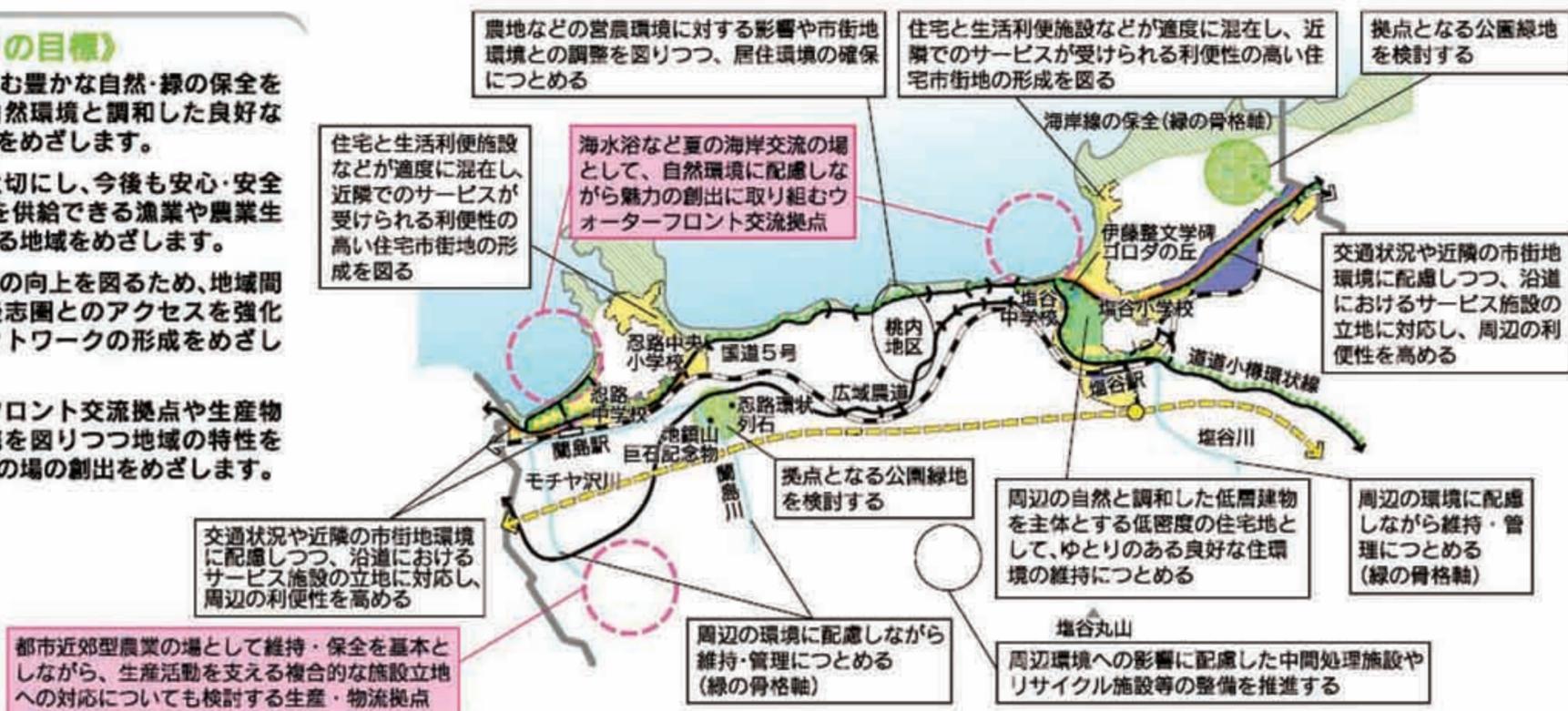
地域別構想

塩谷地域

「自然や歴史とともにある生活の豊かさを実感できる地域」

《地域づくりの目標》

- * 地域を取り囲む豊かな自然・緑の保全を図りながら自然環境と調和した良好な住環境づくりをめざします。
- * 地域特性を大切に、今後も安心・安全な農・海産物を供給できる漁業や農業生産活動を支える地域をめざします。
- * 地域の利便性の向上を図るため、地域間の連絡性や後志圏とのアクセスを強化する交通ネットワークの形成をめざします。
- * ウォーターフロント交流拠点や生産物流拠点と連携を図りつつ地域の特性を活かした憩いの場の創出をめざします。

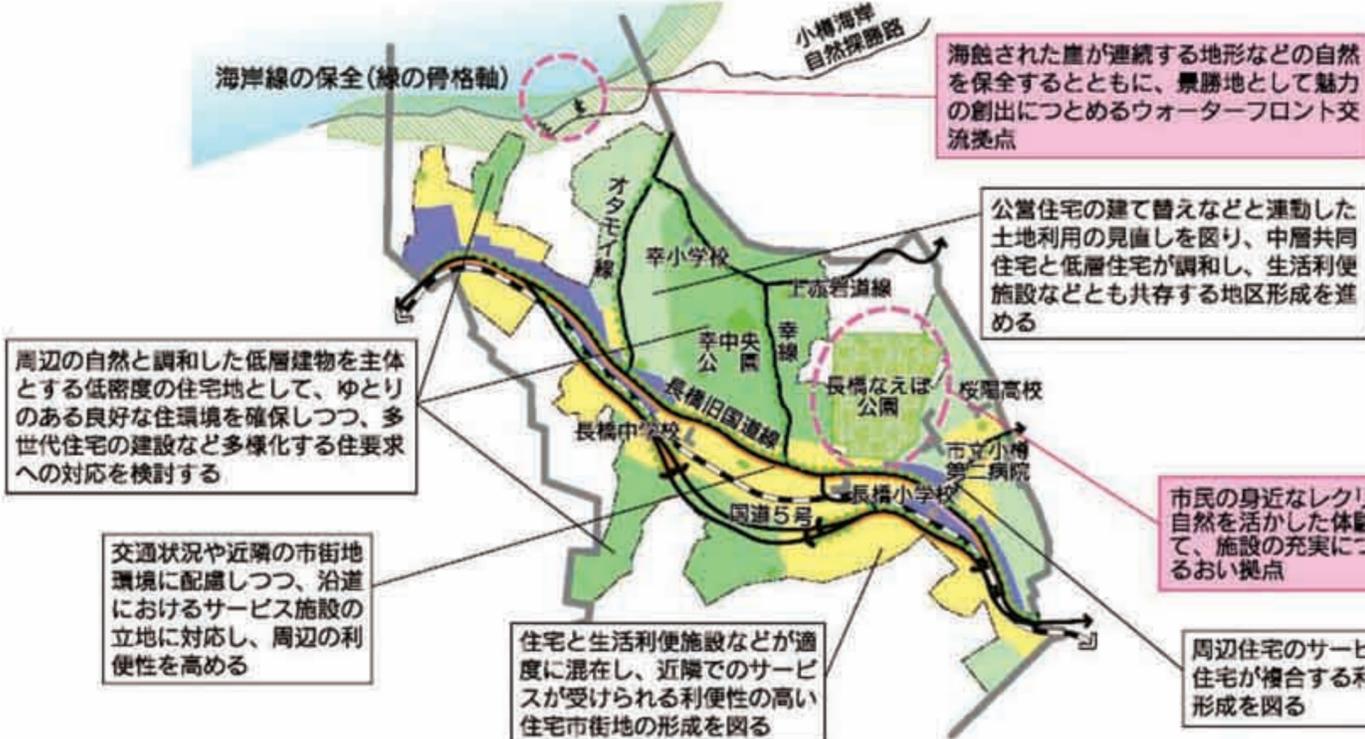


「身近な自然と調和した安心、快適に暮らせる地域」

長橋・オタモイ地域

《地域づくりの目標》

- * 低層建物が広がる住宅地においては、周囲の豊かな自然と調和したゆとりある良好な住環境づくりをめざします。
- * 住宅地域としての特性を踏まえ、様々な人にとって利用しやすい公園・広場空間や生活道路など都市基盤の形成をめざします。
- * 海岸部の自然景観や生活に身近な緑地空間など自然環境を大切にする地域をめざします。

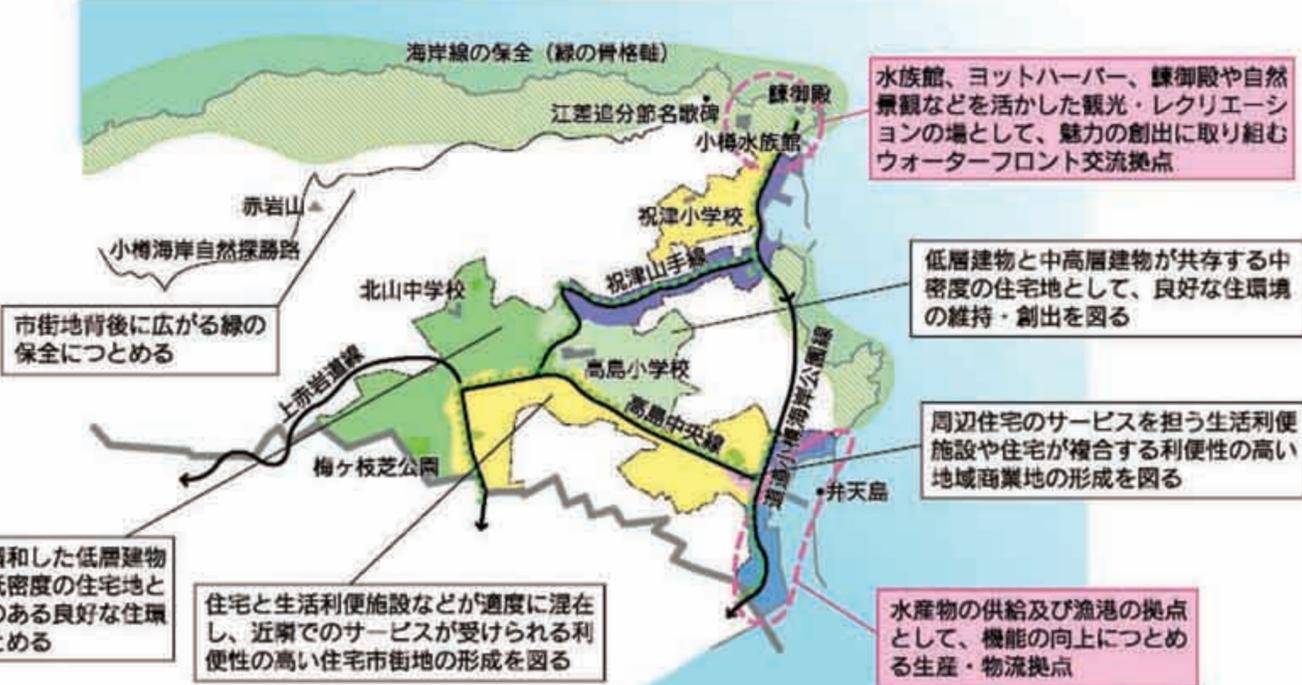


高島地域

「海の資源を大切に、自然の魅力を感じることでできる地域」

《地域づくりの目標》

- * 地域の発展・歴史と密接に関係してきた自然環境や景観を大切にしていける地域をめざします。
- * 住宅地背後の緑地空間と調和した住環境づくりをめざします。
- * 効率的な漁業生産などの活動を支える地域をめざします。
- * 周辺の自然環境に配慮しながらウォーターフロントを活かした観光・海洋レクリエーションと連動する拠点づくりをめざします。



手宮地域

「特色ある歴史やコミュニティを大切にし、活気ある生活が息づく地域」

《地域づくりの目標》

- * 住宅地と近接する商業地や、臨海部での工業地が機能的に配置され、利便性と安全性が確保された地域をめざします。
- * 隣接する拠点間の連携を図り、うらおいやにぎわいの感じられる地域をめざします。
- * 臨海部に位置する工業地は、隣接する地区の環境に配慮しながら、港湾機能を活かした生産物流拠点の形成をめざします。

低層建物と中高層建物が共存する中密度の住宅地として、良好な住環境の維持・創出を図る

市民の身近なレクリエーションや自然を活かした体験学習の場として、施設の充実につとめる市民うらおい拠点

港湾機能を活かし、既存工業機能の集積、技術の高度化、新たな産業の立地に対応する生産・物流拠点

港湾機能の維持・増進を基本としつつ、運河周辺などについてはウォーターフロント交流拠点と連携した複合的な土地利用を検討する

歴史や親水アメニティと連携を図り、中央地域との連続性につとめるウォーターフロント交流拠点

住宅と生活利便施設などが適度に混在し、近隣でのサービスが受けられる利便性の高い住宅市街地の形成を図る

近隣住民の生活を支える商業地やコミュニティの場としての機能向上を促進するとともに、建て替えなど施設の更新時には、防災等に配慮した地区環境の改善を誘導する

歴史的建造物や港湾施設と調和した、個性的で魅力ある景観形成を誘導するとともに、道路・歩行者空間のネットワーク化を図り、中央地域との回遊性を高める



「人が集い、にぎわいあふれる、個性的で歴史と共存する地域」

中央地域

にぎわいの創出を図るため、商業の振興や街なか居住などを促進する生活・利便・にぎわい拠点

港湾機能を活かし、既存工業機能の集積、技術の高度化、新たな産業の立地に対応する生産・物流拠点

《地域づくりの目標》

- * 多様な目的に対応する商業活動の中心地として、にぎわいある中心市街地の形成をめざします。
- * 多くの人たちが訪れる魅力的なもてなし空間の形成や拠点間の連携強化をめざします。
- * 商業機能や公共交通機関が充実していることなどの地域特性を活かした街なか居住の促進を図り、活気ある中心市街地の形成をめざします。

商業・業務機能を高めるため、再開発などの面的整備を促進し、土地の高度利用や都市機能の更新を図る

歴史的建造物や港湾施設と調和した個性的で魅力ある景観形成を誘導する

港湾機能の維持・増進を基本としつつ、運河周辺などについてはウォーターフロント交流拠点と連携した複合的な土地利用を検討する

歴史や親水アメニティと連携を図り、中心市街地の連続性の強化につとめるウォーターフロント交流拠点

小樽特有の歴史・文化・景観などを活かした地区の形成や運河周辺地区からの観光客の回遊性の向上、商業・サービス機能や駅周辺などの利便性を活かした街なか居住を促進する(「街なか活性化計画」との連携)

多くの市民などに親しまれ、多世代が幅広く利用できる交流の場として、施設の整備、充実を図る市民うらおい拠点

中心商業ゾーンとの連携を図るとともに、街なか居住を促進する



山手地域

「ゆとりと落ち着きある暮らしを守り続ける地域」

《地域づくりの目標》

- * 中央地域と隣接した利便性を活かしながらも、静かで落ち着いた雰囲気を保ち続ける住環境をめざします。
- * 地域外縁部の緑と一体となった山麓の交流拠点や新たな公園緑地は、眺望を活かし、自然とふれあえる憩い空間の形成をめざします。
- * 地域の利便性の向上を図るため、地域間のアクセスを強化する交通ネットワークの形成をめざします。

拠点となる公園緑地の整備を検討する

住宅と生活利便施設などが適度に混在し、近隣でのサービスが受けられる利便性の高い住宅市街地の形成を図る

低層建物と中高層建物が共存する中密度の住宅地として、良好な住環境の維持・創出を図る

周辺住宅のサービスを担う生活利便施設や住宅が複合する利便性の高い地域商業地の形成を図る

ウィンタースポーツやハイキングなど、多くの人々が親しめる場として、自然環境に配慮しながら活用を図る山麓ライン交流拠点

周辺の自然と調和した低層建物を主体とする低密度の住宅地として、ゆとりのある良好な住環境の維持につとめる



南小樽地域

「活力ある産業とともに自然を大切にしたい快適な地域」

《地域づくりの目標》

- * ウォーターフロント周辺における拠点機能の充実など、活気ある産業活動を支える地域をめざします。
- * 将来の新幹線の開通に伴う新駅など、中心市街地へ連絡する玄関口としての機能性の向上をめざします。
- * 身近に感じられる親水空間の創出など、うるおいある住環境をめざします。

港湾機能の維持・増進を基本としつつ、小樽港縦貫線沿線についてはウォーターフロント交流拠点と連携した複合的な土地利用を検討する

周辺住宅のサービスを担う生活利便施設や住宅が複合する利便性の高い地域商業地の形成を図る

親水空間と調和した文化・交流・生活サービス機能などの充実した魅力ある空間の維持・創出を図る

港湾機能を活かし、既存工業機能の集積、技術の高度化、新たな産業の立地に対応する生産・物流拠点

親水アメニティを活かすとともに、中心市街地との連携を図るウォーターフロント交流拠点

周辺住宅のサービスを担う生活利便施設や住宅が複合する利便性の高い地域商業地の形成を図る

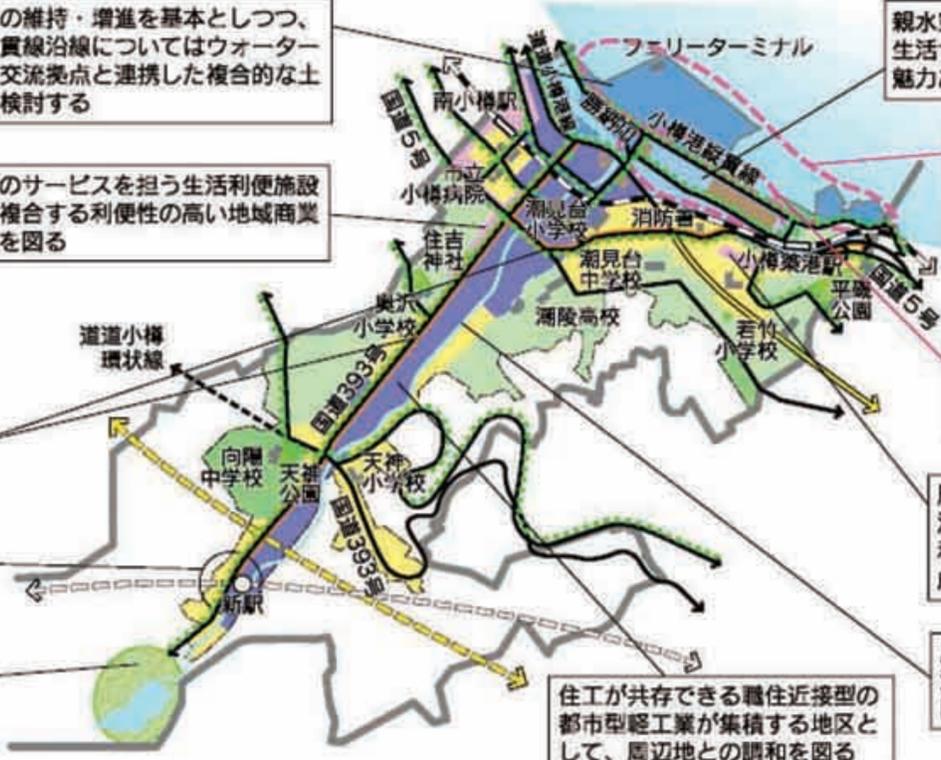
周辺の環境に配慮しながら、河川の緑化や親水性の高い空間整備を図る(緑の骨格軸)

交通状況や近隣の市街地環境に配慮しつつ、沿道におけるサービス施設の立地に対応し、周辺の利便性を高める

新幹線新駅周辺は交流ターミナル機能の整備を図る

拠点となる公園緑地を検討する

住工が共存できる職住近接型の都市型工業が集積する地区として、周辺地との調和を図る



「地域資源を活かした魅力の創出と暮らしやすい地域」

朝里地域

《地域づくりの目標》

- * 計画的に基盤整備が行われた住宅地などは、今後とも暮らしやすい住環境づくりをめざします。
- * 自然や緑地・親水空間を大切にしながら、地域にうるおいを与える空間づくりをめざします。
- * 温泉郷や山麓の交流拠点は、多彩な地域資源を活かした魅力ある空間として、観光・レクリエーション機能の向上が図られる地域をめざします。

周辺住宅のサービスを担う生活利便施設や住宅が複合する利便性の高い地域商業地の形成を図る

周辺の環境に配慮しながら河川の緑化や親水性の高い空間整備を図る(緑の骨格軸)

交通状況や近隣の市街地環境に配慮しつつ、沿道におけるサービス施設の立地に対応し、周辺の利便性を高める

周辺の自然と調和した低層建物を主体とする低密度の住宅地として、ゆとりのある良好な住環境の維持・創出につとめる

周辺住宅のサービスを担う生活利便施設や住宅が複合する利便性の高い商業地として、土地の高度利用など機能向上につとめる

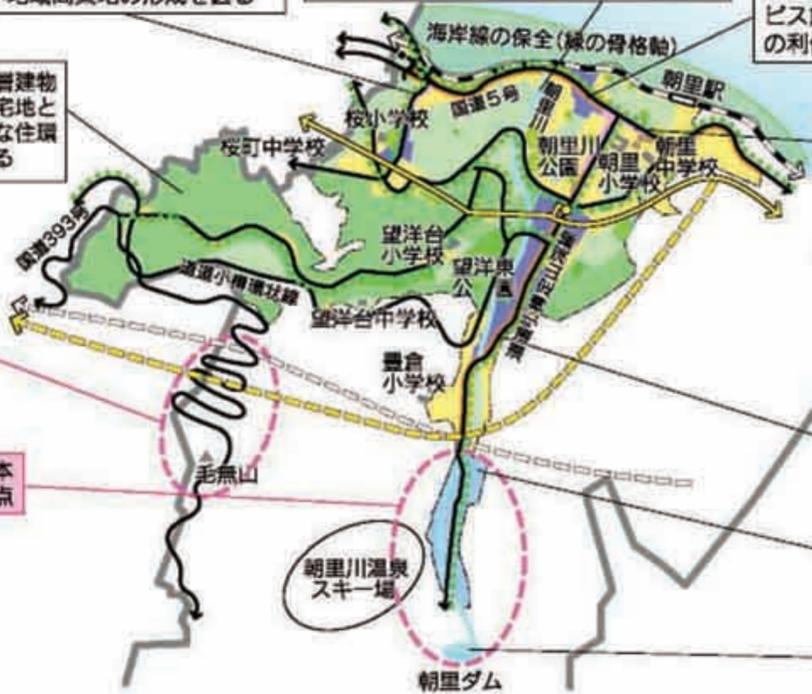
森林などの自然環境に配慮しながら市民や観光客が親しめる場として活用を図る山麓ライン交流拠点

宿泊、スポーツ機能を基本とした山麓ライン交流拠点

交通状況や近隣の市街地環境に配慮しつつ、沿道におけるサービス施設の立地に対応し、周辺の利便性を高める

自然と調和した、観光やスポーツ・レクリエーションなどの場として、土地利用の見直しなど機能の向上を図る

水辺空間を利用した親水性の高い空間として維持・管理を図る



銭函地域

「自然と調和した生活・交流と活発な産業活動を支える地域」

《地域づくりの目標》

- * 札幌圏に隣接している立地特性を活かしながら、恵まれた自然と調和した快適な住環境づくりをめざします。
- * 周辺の自然環境や住環境に配慮しながら活気ある産業活動を支える地域づくりをめざします。
- * 海や山の交流拠点は、周辺の自然に配慮しながらスポーツ・レクリエーション機能の向上が図られる地域をめざします。

交通状況や近隣の市街地環境に配慮しつつ、沿道におけるサービス施設の立地に対応し、周辺の利便性を高める

ハイキングやウィンタースポーツなど多くの人が楽しむことのできる交流の場として、自然環境に配慮しながら魅力の創出につとめる山麓ライン交流拠点

海水浴など多くの人が楽しむことのできる交流の場として、自然環境に配慮しながら魅力の創出につとめるウォーターフロント交流拠点

親水性の高い空間の維持・管理につとめる(緑の骨格軸)小樽市域分

周辺の環境向上のため、個々の工場敷地内の緑化等を促進する

今後の工業・流通の発展動向や社会変化を考慮した適正な配置を基本とし、複合的な施設立地にも対応した土地利用を検討する

周辺住宅のサービスを担う生活利便施設などが立地するにぎわいある地域商業地の形成を図る

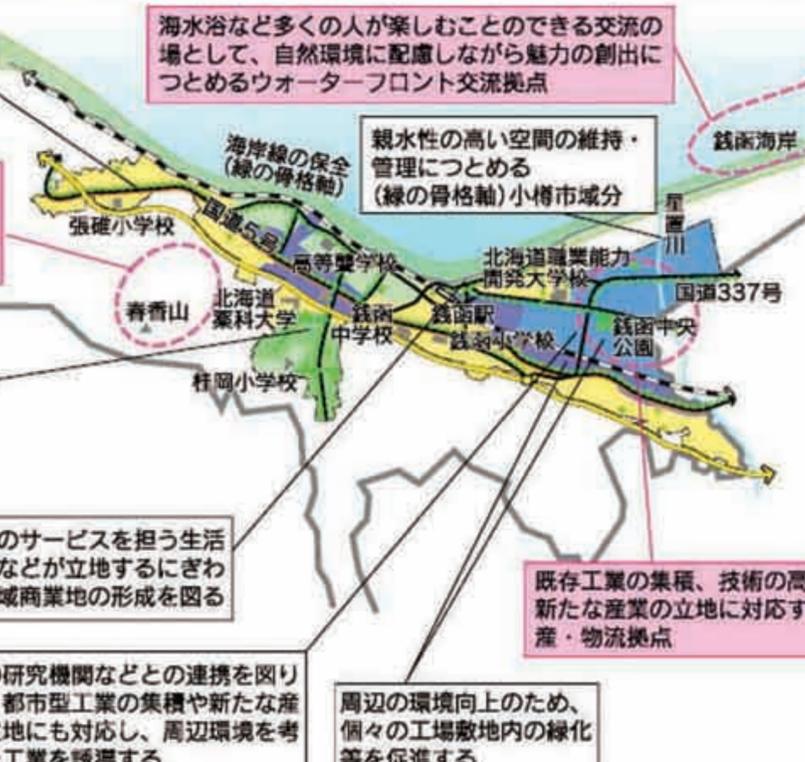
既存工業の集積、技術の高度化、新たな産業の立地に対応する生産・物流拠点

海岸線の保全(緑の骨格軸)

既存工業機能の集積、技術の高度化、新たな産業の立地に対応する生産・物流拠点

近隣の研究機関などとの連携を図りつつ、都市型工業の集積や新たな産業の立地にも対応し、周辺環境を考慮した工業を誘導する

周辺の環境向上のため、個々の工場敷地内の緑化等を促進する



■都市計画マスタープランの推進に向けて

小樽市都市計画マスタープランは、市民アンケート調査や地域懇談会での市民意見などを反映しながら、土地利用や道路、公園など都市施設整備に関わる基本方針を示したものです。

この中で示した将来都市像の実現をめざし、市民と行政が合意形成を図りながら役割を分担し、パートナーシップ・協働の視点で一步一步着実に進めていくことが重要と考えています。

- *今後の社会・経済情勢の変化に的確に対応した進行管理、推進体制づくりを進めます。
- *多様な情報媒体を活用し、まちづくりに関する情報の収集・発信につとめます。
- *まちづくりグループや地域企業、教育機関、関係行政機関などと連携を図ったまちづくりにつとめます。
- *市民参加による地域主体のまちづくり活動を促進するとともに、地域のまちづくりを担っていく人材の育成など、支援・協力につとめます。



.....小樽市建築都市部都市計画課.....

〒047-8660 小樽市花園2丁目12番1号
TEL : 0134-32-4111 (内線331)
FAX : 0134-27-4554
E-mail : tosikei@city.otaru.hokkaido.jp
<http://www.city.otaru.hokkaido.jp/>